

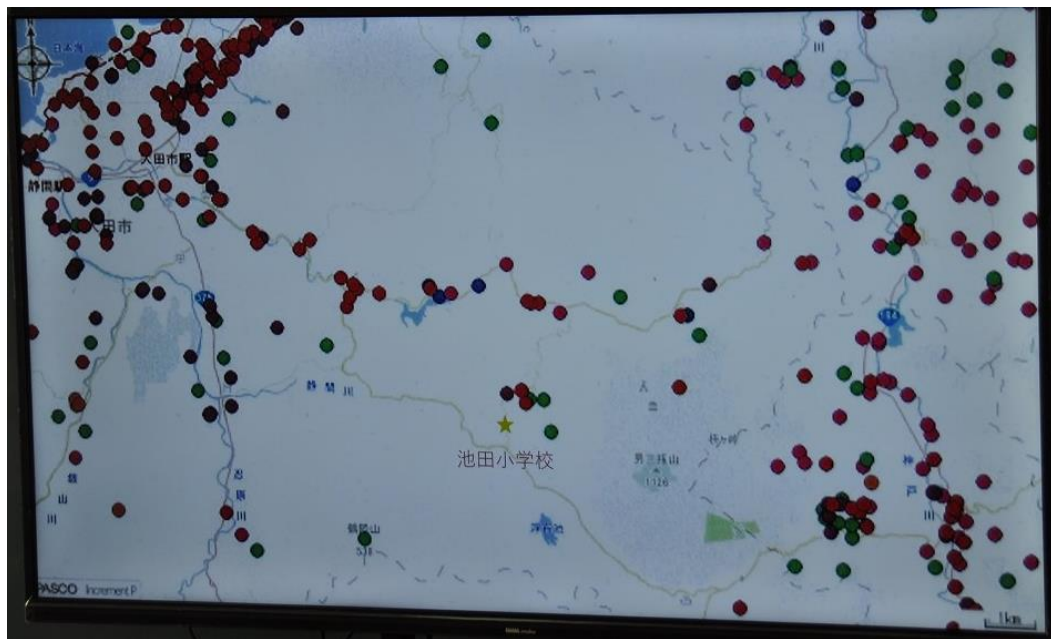
7月2日（金）心に残る文化財子ども塾がありました

本日、標題の行事がありました。これは、毎年、島根県文化財調査センターが企画をしており、県内30校程度にまわり、身近な地域の遺跡の歴史学習とともに古代歴史体験を行う事業です。私も実は、この島根県文化財調査センターに勤めていた経験があり、とても人気な事業です。春先に、担任の方へアピールして申し込むように話をしていました。

本日、文化財調査センターより1名来られて、①池田周辺の遺跡について②縄文土器作りを試みようとして2本立てで授業を構成していただきました。



下の写真は、大田市の遺跡地図です。赤い所や緑や青のところが遺跡だそうです。大田市内で約600カ所あるそうです。池田周辺にもあります。最近、近くにも遺物が出土しています。来週にも学習に行く予定です。



その次に、本物の縄文土器や弥生土器、土製の勾玉を見せていただきました。





このように本物の土器を見て触れる体験をしていくことが必要だと私は感じています。

土製の勾玉もケースから出してわざわざ触らせていただきました。

この勾玉は大田市から出土したものです。

そして次が、「縄文土器づくり」体験です。



縄文土器は、一本ずつ粘土ひもを作り、縦に重ねていく手法です。

そして、貝殻や縄で紋様をつけていきます。古代の人々は、情緒あふれる土器を作成しています。現代人もそうですが、おしゃれという遊び心があります。



縄文土器も個性があります。縄文人も我々現代人も同じで様々な形の縄文土器が出土しているのも個性があり作られているからです。

(文責：校長)